

# 寄せられたご意見

## 患者さん・ご家族からのご意見

術後の写真を撮るため、病室に2人のレントゲン技師の方がポータブルの器械を持ってきました。

私は痛くて、身体を動かすことができずにいましたが、「背中に板、入れますね」と容赦なく身体を持ち上げ、板を入れました。そのまま、下腹部の写真を撮るため、腰の辺りまで板をズラしたのですが、術後のために敷いてあった防水シートに引っかかり、スムーズに行えず。それでも2枚の写真を撮り終わると「終わりましたので」と言って退室。

引っかかってぐじゃぐじゃになったシートを直すこともなく、誰かが落とした血圧を測定した用紙が病室に落ちていても気付かず。足元の紙くずに気付けない人が、人の痛みに気付けるわけありませんね。

入院中の残念だと感じた出来事でした。

## 本院からの回答

不快な思いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。

今回のご意見を受けまして、放射線室の意識改善策として、室内全員参加で接遇の研修会を開催しました。

また、ポータブル撮影時の入室、撮影、退出時の患者様対応と接遇についてシミュレーション実技と意見交換を行いました。

これからも患者様が安心できる医療の提供を目指し、患者様お一人おひとりに寄り添った対応を行ってまいります。